

「あるべき理想の現場」をつくる。

03

社会とともに発展する

ブルドーザーは、地雷除去機になった。 カンボジアの地雷原は、田んぼや畑になった。



ブルドーザーをベースに開発した対人地雷除去機



*地雷除去への取り組みを映像でもご覧ください。

「地面はコマツの現場だ」技術の粋を一台に。

数百万個の対人地雷が地中に眠るカンボジア。まだ手作業での除去が中心だった2002年、コマツは「対人地雷除去機」の開発に着手した。地面を現場に、土と格闘してきた歴史を持つ技術。ブルドーザーをベースに特殊なローター、変速機などを開発、地中に埋まる小さな対人地雷を確実に壊せる新たな機械をつくりあげた。



カンボジアの地雷原

田んぼや畑、道、学校。 人が戻る。村が生き返る。

手作業の数十倍にも達する除去のスピード。地雷を取り去り、掘り起こされた地面には地元住民が次々と苗木を植えた。半年後に一面に広がるキャッサバ畑。道があれば、収穫したキャッサバを運べる。そして村に人が戻れば、学校が必要になる。コマツは2008年から日本地雷処理を支援する会(JMAS)をパートナーにカンボジアで除去後の復興まで支援し、これまで約2300ヘクタール、東京ドーム400個分以上の広さの地雷原を安全な土地に生き返らせ、70キロの道を、9校の校舎を建設している。



地雷除去後のインフラ整備



カンボジアに建設した小学校

ゴールは、除去の先に。 広がるまちづくり。

地雷除去の先に続いていく仕事。建設した小学校の校舎では、子どもたちが安心して授業を受けられるようになった。2020年からは農業用に開発したブルドーザーを活用して稲作支援をスタート。地雷除去は、ゴールではない。安全になった地雷原にインフラを整備し、暮らしやすいまちをつくる。それはまさにコマツの本業だ。現在も五十数カ国の地に地雷が残されているという。社会が必要とする新しい機械を生み出してきたコマツの力を、世界の現場が待っている。



学校で学ぶ子供たち

協力：NPO法人 日本地雷処理を支援する会(JMAS)

製作困難で未だ経験のないものを製作する

技術は人なり、企業は人なり

地方に受けし寄与に報いん

創業者 竹内明太郎の思想



コマツのCSR重点分野

生活を豊かにする社会が求める商品を提供する

人を育てる

社会とともに発展する

本業を通じたESG課題解決

●気候変動に対応した環境負荷低減や安全に配慮した高品質・高能率な商品・サービス・ソリューションの提供

●多様な人材の育成
●ダイバーシティ・インクルーシブ人材の強化と育成

●ステークホルダーとの協業による社会的課題の解決
●責任ある企業行動

CSR重点分野とSDGsとの関係



産業技術革新



持続可能都市



協業



気候変動



経済発展



持続可能都市



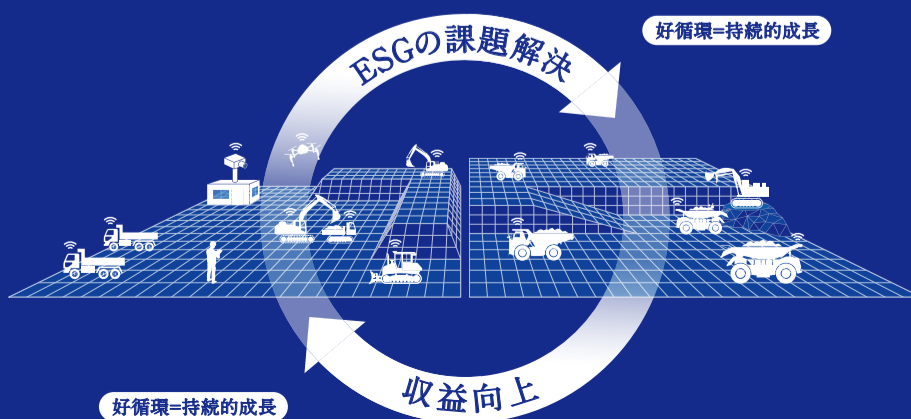
協業

Global Teamwork
KOMATSU

コマツ
〒107-8414 東京都港区赤坂2-3-6
FAX 03-3505-9662
<https://home.komatsu.jp/>

つくろう、
サステナブルな社会を。
つくろう、
コマツらしいやり方で。

安全で生産性の高い
スマートでクリーンな未来の現場



コマツの
目指すべき姿



代表取締役社長(兼)CEO
小川啓之